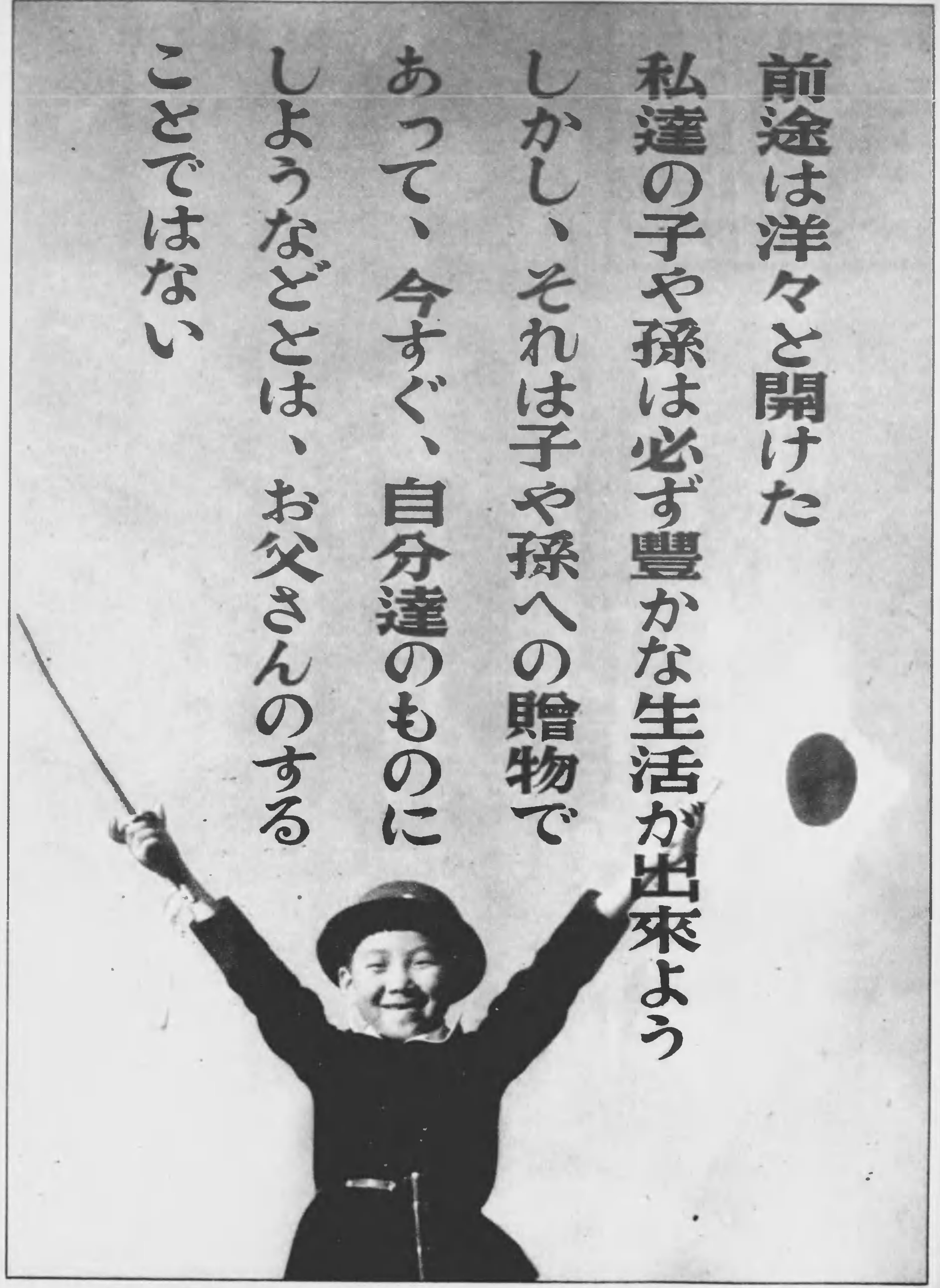
寫眞週報

情報局編輯

一月廿八日・第二百五號・十セン

昭和十三年二月十二日 第三種郵便物認可 昭和十七年一月廿八日發行（毎週一回水曜日發行） 第二百五號

時の立札



前途は洋々と開けた
私達の子や孫は必ず豐かな生活が出來よう
しかし、それは子や孫への贈物で
あつて、今すぐ、自分達のものに
しようなどとは、お父さんのする
ことではない

東條陸相
産業戰士を激勵

川崎市

『私が切に要望する所は、諸士が皇軍將兵と同じく盡忠殉國の精神と必勝の信念を諸士の職場に飽くまで充實發揮せられんことの他にない……』

去る一月十五日神奈川縣川崎市ディーゼル自動車工業株式會社の新規徴用者入所式に臨んだ東條陸軍大臣が、選ばれて産業報國の光榮を擔ふ若人たちに贈る激勵の言葉だ

即ち諸士の毎日の生産行動、鋲を一本打ち込むのも、ハンマーの一撃も、悉く直接に皇軍の戰力となつて……』

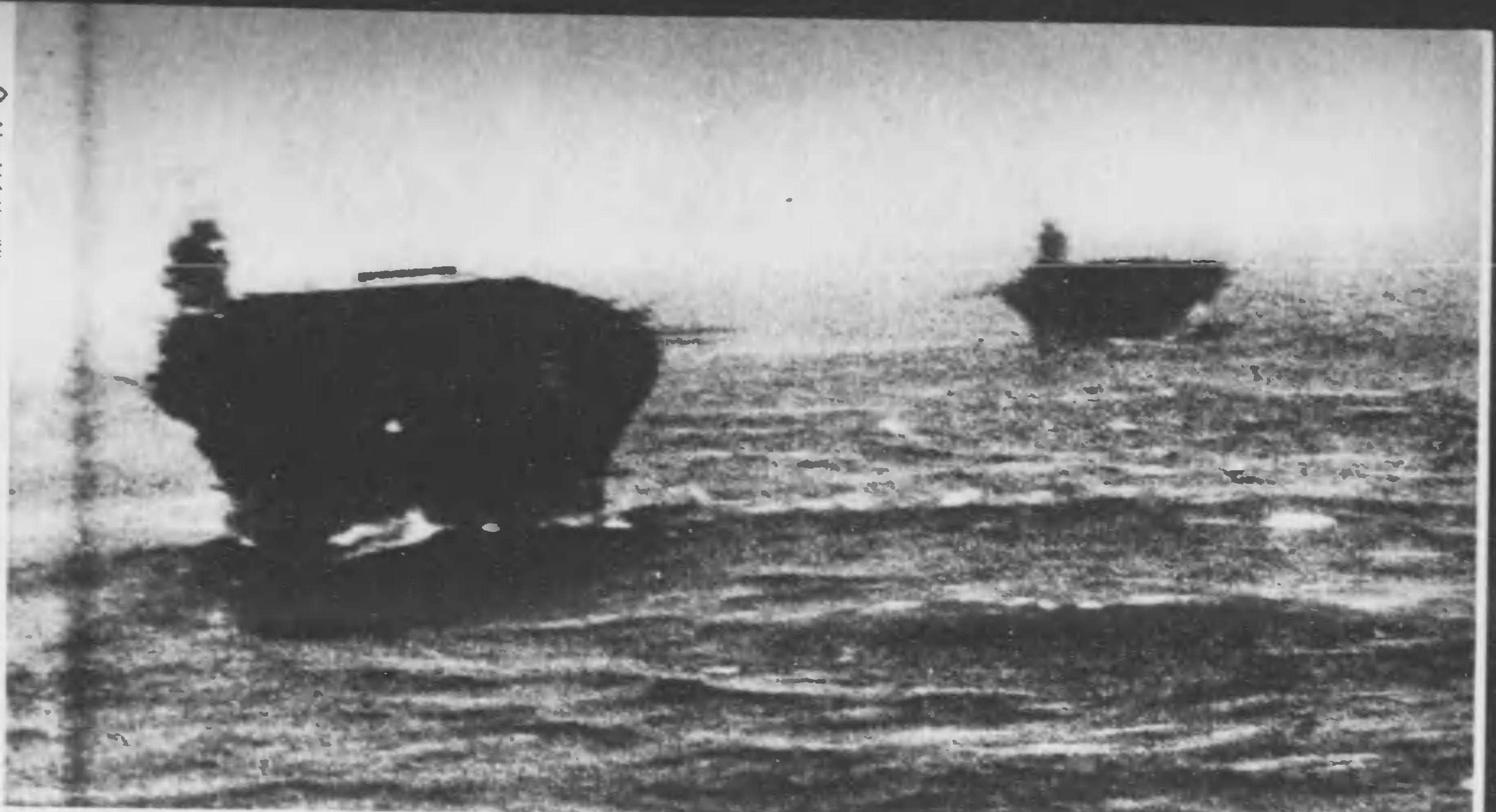
更に同式場からは東條陸軍大臣の力強い一語、一語が電波を通じて全國の職場に傳へられ、重大時局下産業戰線の戰陣訓を全國勞務者の胸の中にしつかり叩き込んだのだつた

ハワイ海戰詳報

第二報

ハワイ空襲は世界戰史に殘る不滅の金字塔である。あの驚異的戰果の發表があつた時、われ〱日本人は全身の血が逆流するやうに感激を覺えた

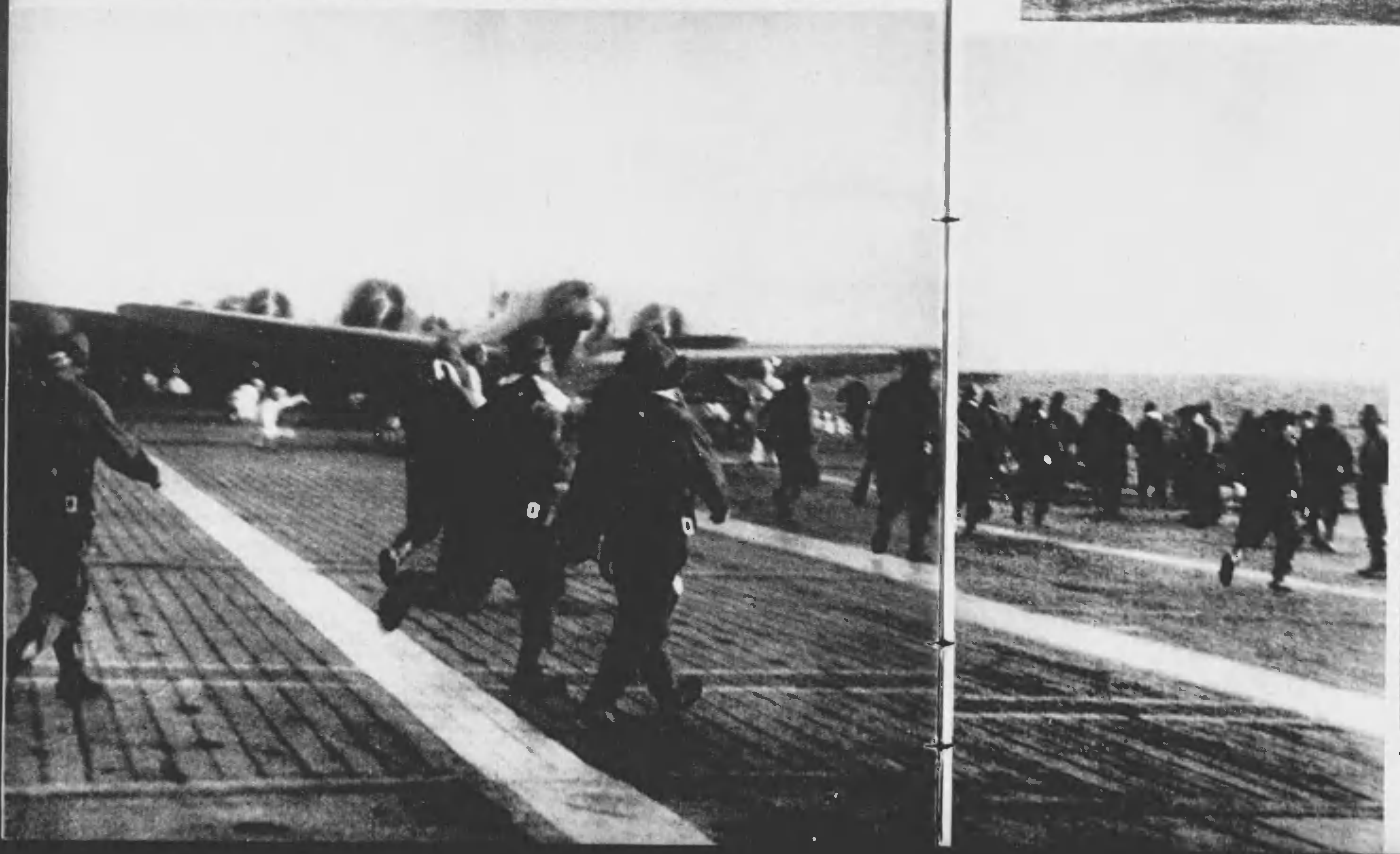
これは、ハワイ空襲部隊の撮影になるハワイ海戰第二報である。この壯擧、この生生しい記錄をわれわれ日本人は深く膽に銘じそして子々孫々に至るまであの日の感激を傳へ遺さうではないか



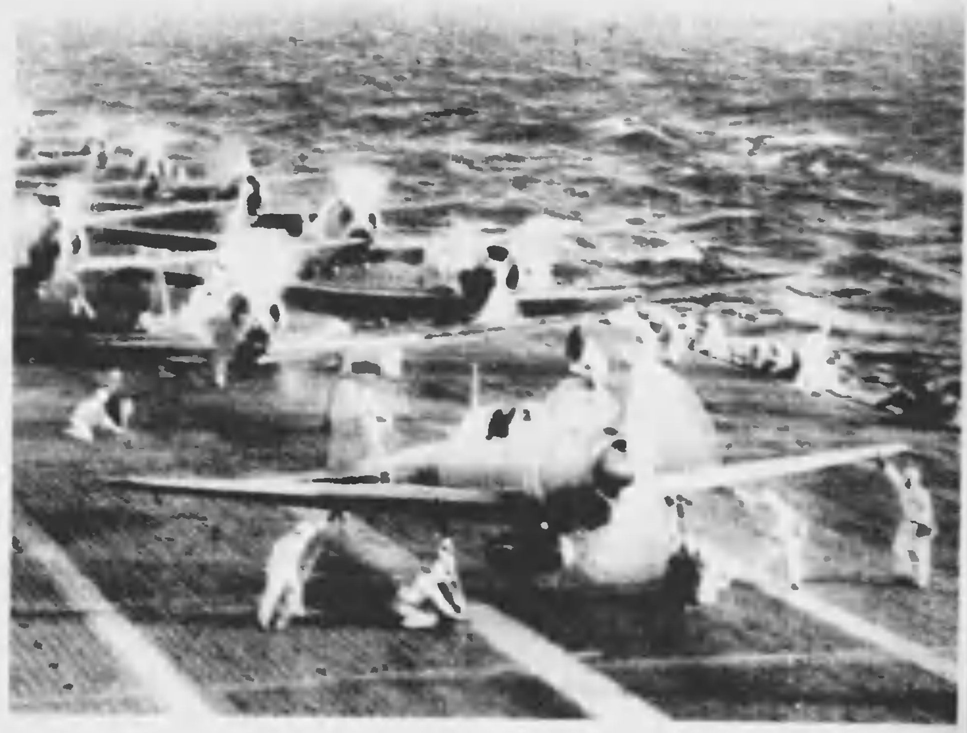
⇨ 堂々太平洋を駛してハワイ撃滅に進むわが航空母艦

⇦ 秋は今！ 烈々たる〇〇隊長の訓辞

⇦ やるぞ、頑張るぞ、隊長の訓辞を、はやりたつ胸にたゝきこんで——



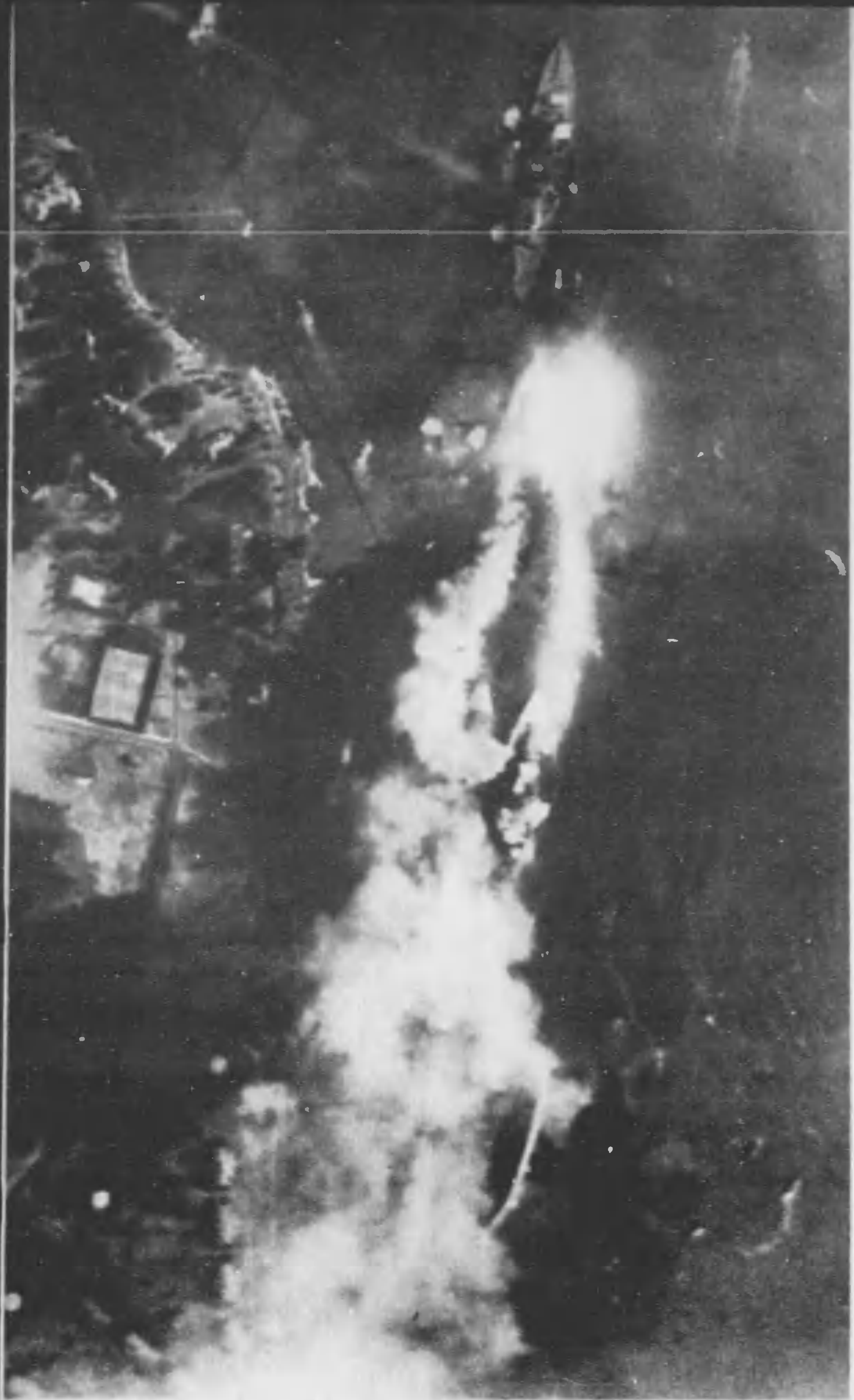
⇦ 司令の『掛れ！』の號令と共に身に餘る光榮と使命を擔つていよ〱荒鷲の進發



⇧ エンヂンは快調、『無事に使命を果せよ！』と整備兵は出陣の愛機を出發位置につける

撮影　海軍ハワイ空襲部隊

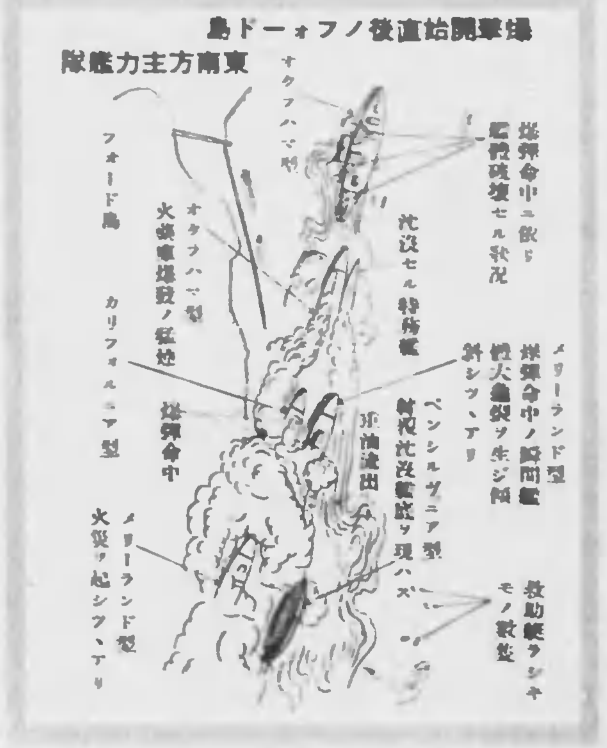
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/



右上は第一報（本誌第二百一號所載）の寫眞であり左上は本號に新らしく發表された寫眞である。この二枚の寫眞の間には○○分間の經過がある。わが魚雷、爆彈を浴びた敵主力艦群のうち既にペンシルヴァニア型は轟擊沈沒メリーランド型は火災を起し、オクラハマ型は火藥庫爆發の猛煙に包まれるなど慘憺たる有樣を呈してゐる

またこの寫眞では救助艇らしきものが數隻右往左往してゐるのも見られる

爆撃開始直後ノフォード島東南方主力艦隊

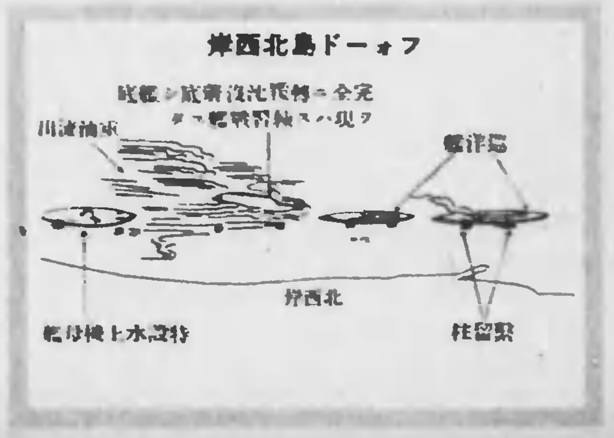


オクラハマ型
爆彈命中ニ依リ艦體破壞セル狀況
沈沒セル特務艦
メリーランド型
爆彈命中ノ瞬間艦體大龜裂ヲ生ジ傾斜シツヽアリ
ペンシルヴァニア型
轟擊沈沒艦底ヲ現ハス
重油流出
救助艇ラシキモノ數隻
フォード島
オクラハマ型
火藥庫爆發ノ猛煙
カリフォルニア型
爆彈命中
メリーランド型
火災ヲ起シツヽアリ

ハワイ海戰詳報[illegible]

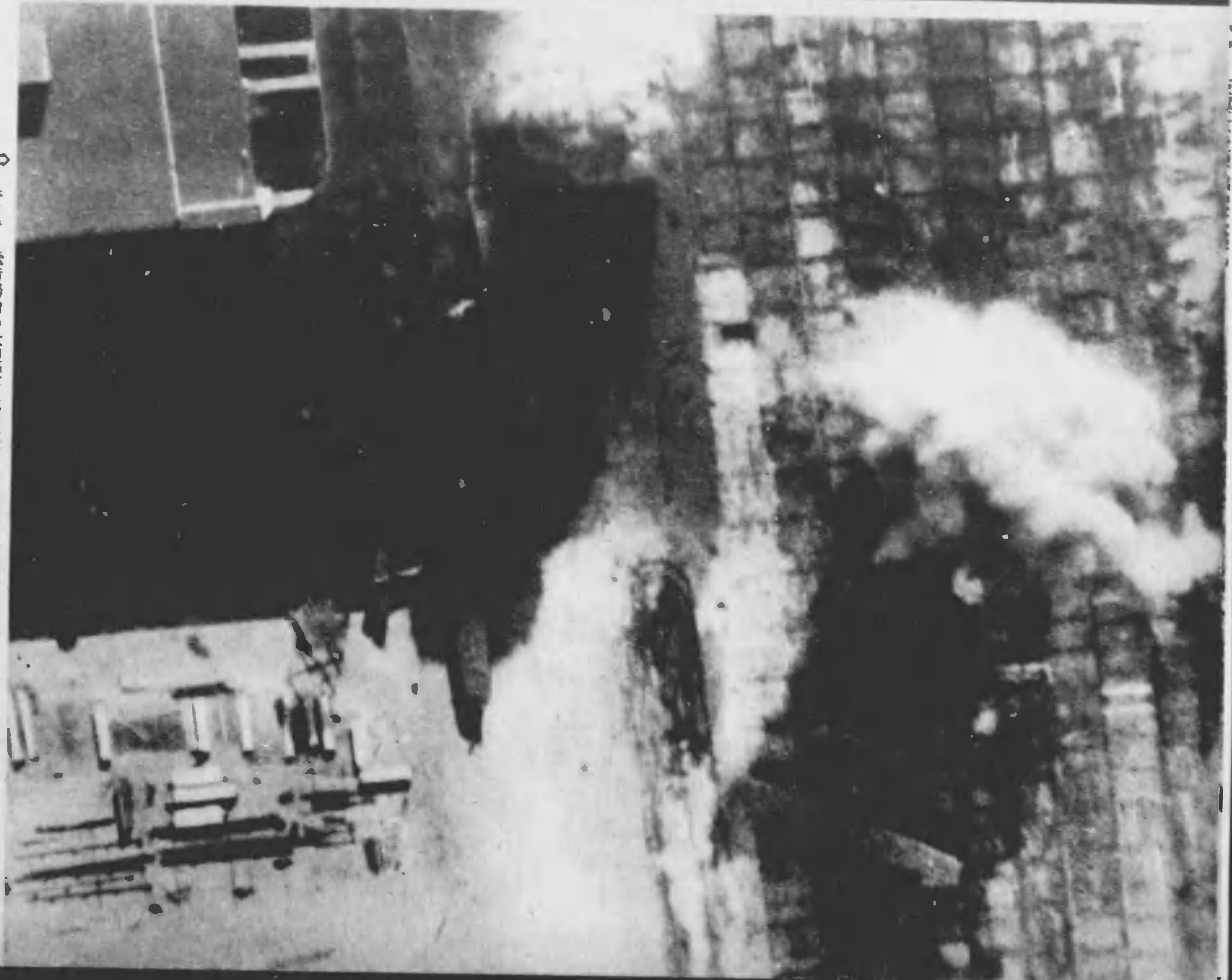
フォード島北西岸でも練習艦ユタは見事轟沈し特設水上機母艦などが一瞬にして壊滅した

フォード島北西岸



完全ニ轉覆沈沒艦底ヲ現ハス練習戰艦ユタ
重油流出
巡洋艦
特設水上機母艦
北西岸
繫留柱

⇨遙か洋上ハワイ目指して[illegible]飛び立つ、「敵を斃すまでは死なぬ」の決意を載せて航空母艦甲板を離れゆく



⇨ホイラー飛行場内の大型機は枕を並べて直擊彈を浴びてゐる

アジア歷史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ウエーキ島の戰果

海軍省撮影

ウエーキ島は茫々たる太平洋に浮ぶ芥子粒ほどの島であるが、アメリカは太平洋中央進攻路の中間基地としてその完全な要塞化を圖つたものである

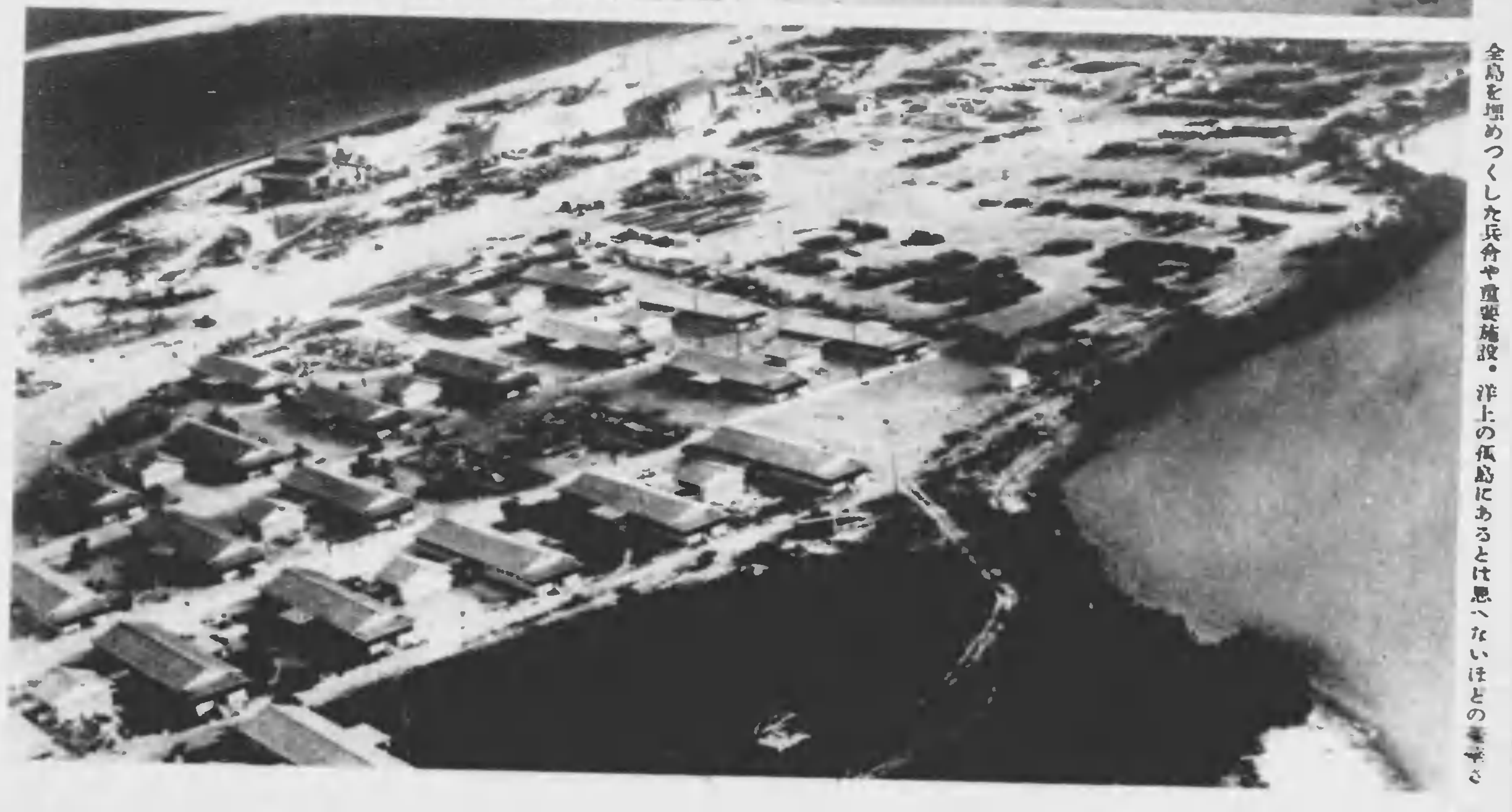
だが、浮ぶ要塞、ウエーキ島も皇軍の前にはひとたまりもなく潰え去つて、アメリカ當局を呆然とさせた

ピール島水上基地に對する猛烈な爆撃

わが空爆により破壊された敵の重油タンク

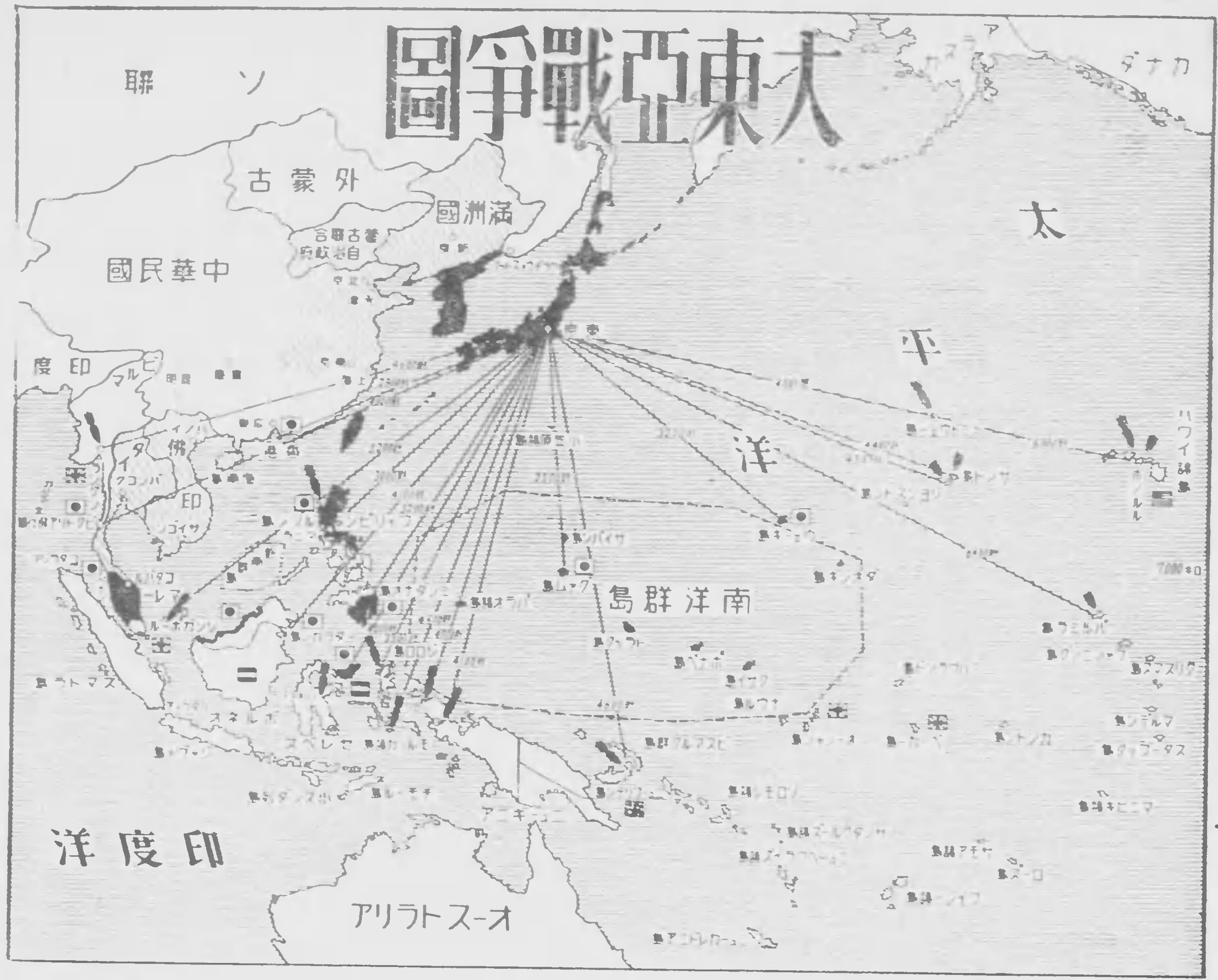
隠蔽されてゐた地下格納庫も忽ちわが荒鷲の好餌食

舞ひ上る暇もなくわが空爆により地上爆破された敵戰鬪機



全島を埋めつくした兵舎や重要施設・洋上の孤島にあるとは思へないほどの豪華さ

大東亞戰爭圖



大東亞戰爭日誌

九日 ●海軍艦艇は陸軍と協力し〇〇方面において敵潜水艦二隻を撃沈

十日 ●午前十時、陸軍部隊はスビツク灣の要衝オロンガポを占領 ●午後、陸空軍はマラッカ海峡の敵艦船を攻撃して大型輸送船一隻（一萬トン級）を撃沈せしむると共に潜水艦一隻を大破、また他の一隊はタムピン附近において退却中の英軍を輸送せる列車を爆破せしむると共に自動車・裝甲車十四輛を粉碎 ●病院船[illegible]丸は南支那海において敵潜水艦の攻撃をうけ沈沒、乗組員および乗客の大部分は救助せられたるも[illegible]名は行方不明、敵のかかる非人道行爲は帝國の最も遺憾とするところなり

十一日 ●マレー西海岸方面を南下中の陸軍先鋒部隊はクアラ・ルムプールを完全占領

十二日 ●海軍特別陸戰隊はセレベス島のメナド占領、また陸軍部隊と協力してタラカン飛行場を占領 ●海空軍はセレベス島中部東岸トモリ灣コロネダレ水上航空基地を攻撃し飛行機格納庫大小九個、兵舎一棟その他を爆破炎上せしめ、またジロロ島テルナテを攻撃して大倉庫一個を爆破し五個所に大火災を生ぜしむ ●海空軍はタラカン方面において蘭印の双發爆撃機一機、B十七爆撃機一機を撃墜 ●正午、陸空軍はジョホール上空において敵バッファロー戰鬪機十五機と遭遇し十機を撃墜すると共に引續きテンガー飛行場を襲撃し飛行場諸施設を爆破、さらに午後二時、セレター上空において退避せんとする敵バッファロー戰鬪機十機を發見その五機を撃墜、夕刻有力なる戰爆連合の大部隊をもつて第三次空襲を決行、軍事諸施設を粉碎すると共に、バッファロー戰鬪機六機に猛攻を加へ四機を撃墜

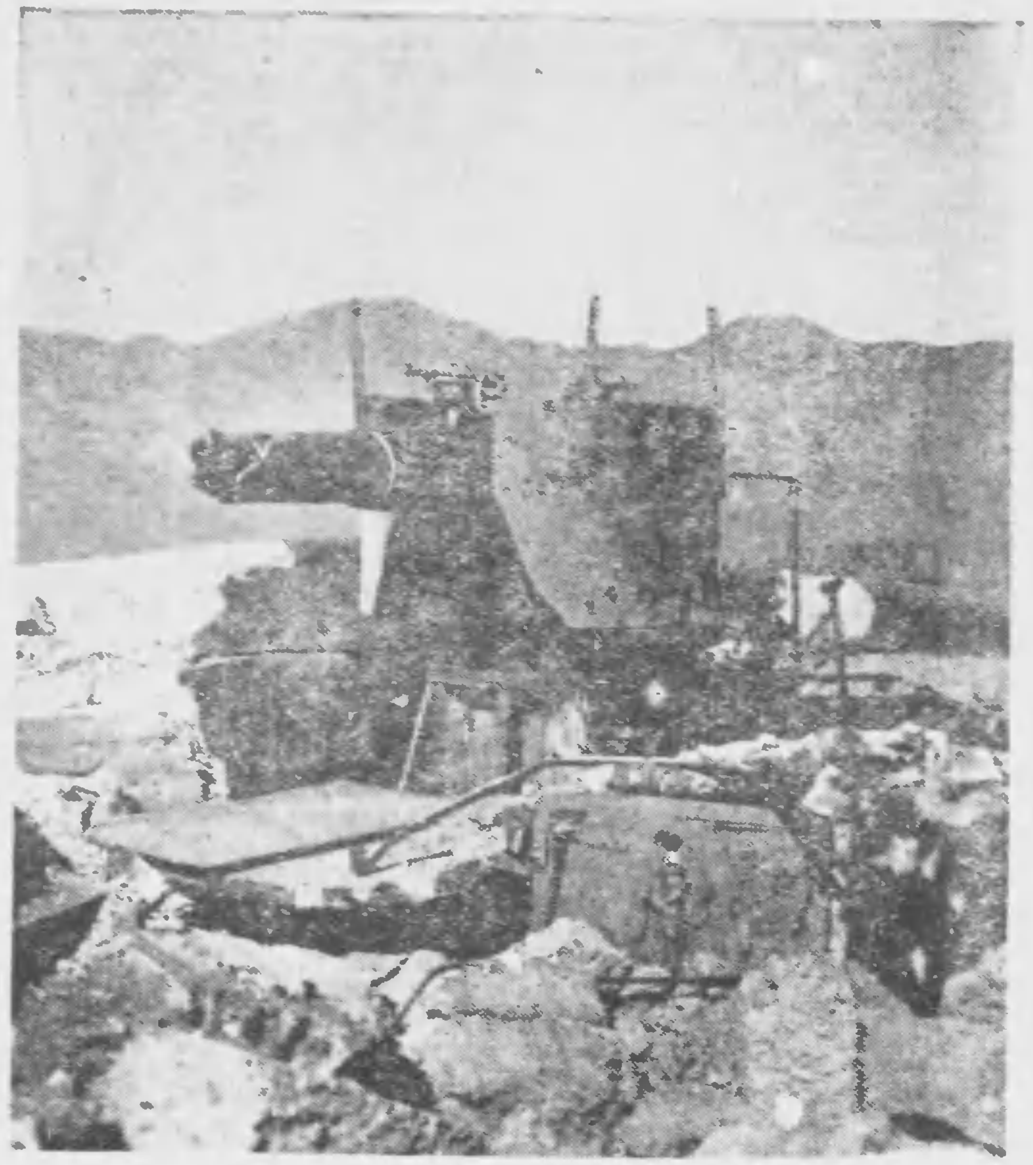
十三日 ●海軍艦艇はタラカンを脱出せんとする和蘭軍艦プリンス・ファン・オラニエ（一千二百九十トン）を撃沈 ●海軍特別陸戰隊はセレベス島カカス飛行場を占領、本作戰に參加の航空部隊は敵ロックヒード・ハドソン重爆撃機四機、ほか敵重爆撃機三機を撃墜

十四日 ●海軍特別陸戰隊は本日までにセレベス島北部ミナハサ州一帶の重要地を攻略し敵航空基地を占領、同作戰において戰車、野砲、機銃、小銃、彈藥その他軍需品多數を鹵獲

十五日 ●正午頃、陸軍部隊はマレー西岸の要衝マラッカを攻略 ●海空軍は本日までにニューギニアの西部バボ、ソロン、モルッカ諸島のアンボン、ニューブリテン島のラボールに對し數次の攻撃を敢行 ●蘭印方面の帝國潜水艦は本日までに敵艦船四隻計二万七千トンを撃沈、海軍艦艇は商船三隻計四千トンを拿捕 ●陸空軍のシンガポール晝間大空襲綜合戰果、撃墜敵機十六機、地上爆破七機 ●陸空軍の一隊はマレー東岸の要衝エンダウを空襲し市内の重要軍事施設並びに港内の船舶を爆撃 ●海空軍大編隊は第十五次シンガポール長距離偵察並びに爆撃を敢行、シンガポール、テンガー飛行場、ジョホール・バル北西方スクダイ飛行場及びクルアン飛行場等を強襲

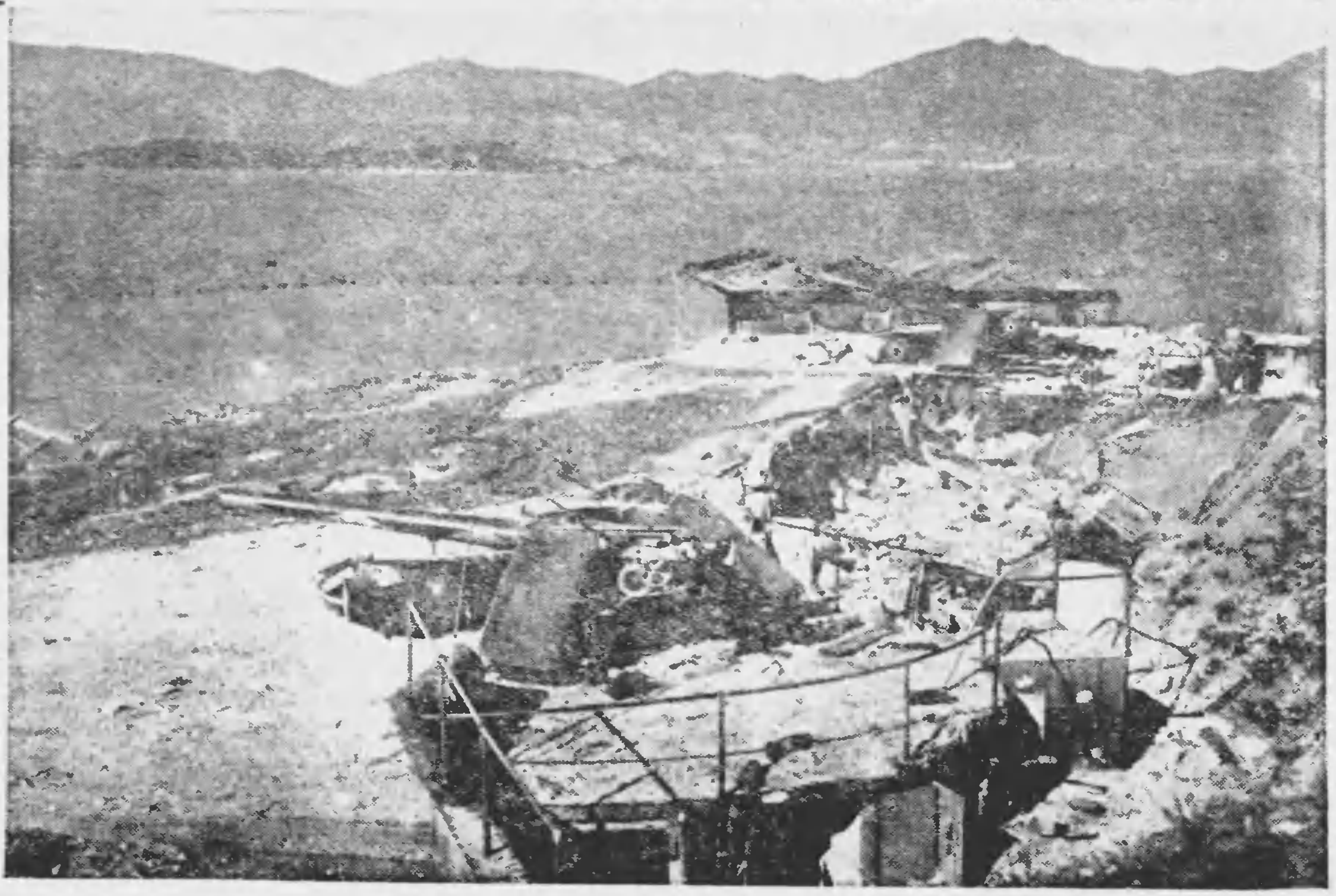
十七日 ●戰爆連合の陸空軍大編隊は前日に引續きシンガポールに大空襲を敢行

十八日 ●ベルリンにおいて日獨伊三國間の軍事協定調印さる



⇨ペチェラー砲臺の十五糎加農砲

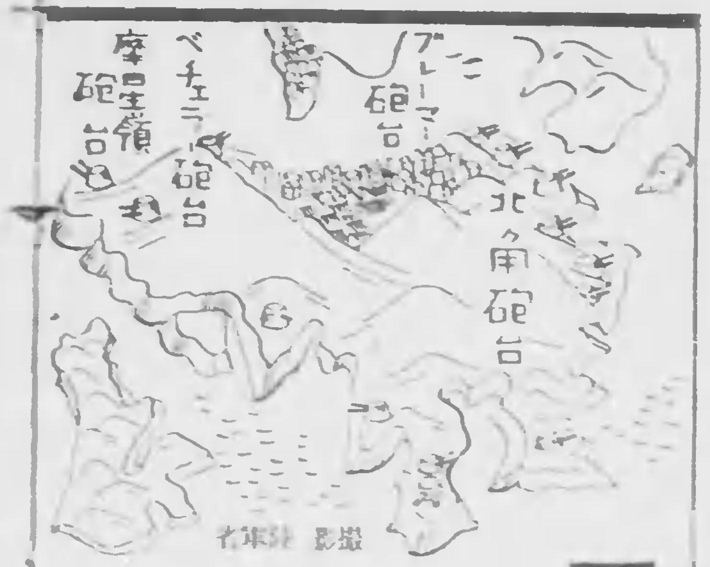
ペチェラー砲臺の十二糎加農砲⇩



要塞攻擊戰

—香港の戰跡に見る—

大本營陸軍報道部
陸軍少佐 **平櫛孝**



撮影 筆者

要塞攻撃をするためには攻城軍が編制されるが、要塞の戰闘といふものは、力の戰闘であつて、その力の根幹をなすものは、何といつても砲兵、歩兵、戰車、航空機などこれ等の綜合戰力でなければならない。その中の砲兵は、何といつても戰闘の骨幹をなすものであつて、攻城軍の中に攻城砲兵として編制されるのである

この攻城砲と一般の野戰砲と異なる點は、口徑も大であるし、威力もまた強大なものでなければならない點であつて、色々の目的のために口徑一〇サンチ級から三〇サンチぐらゐ迄の各種の火砲が編制されるのである

要塞の攻撃が普通の野戰のやうに、迅速に片が付かないのには、いろいろ要塞攻撃の特殊性があるが、このためには、各種の威力をもつた攻城砲兵を展開させるのに相當の時日を要するからである。野戰砲ならば、馬で大砲をひつぱつて來て直ぐ射てるのであるが、攻城砲は速いものでも一晩、遅いものならば、三日乃至五日かゝつて漸く陣地占領ができるのである

しかし一旦攻城砲兵の配置が整ふと、この攻城砲兵の有する情報機關、すなはち眼を總動員し、飛行機、氣球の協力を得て、敵情を捜索する。かくして敵要塞の内部の重要點がほゞ見當がつくと、所謂總攻撃の數日前からこの要點の破壊を目指して強烈な射撃を開始するのである

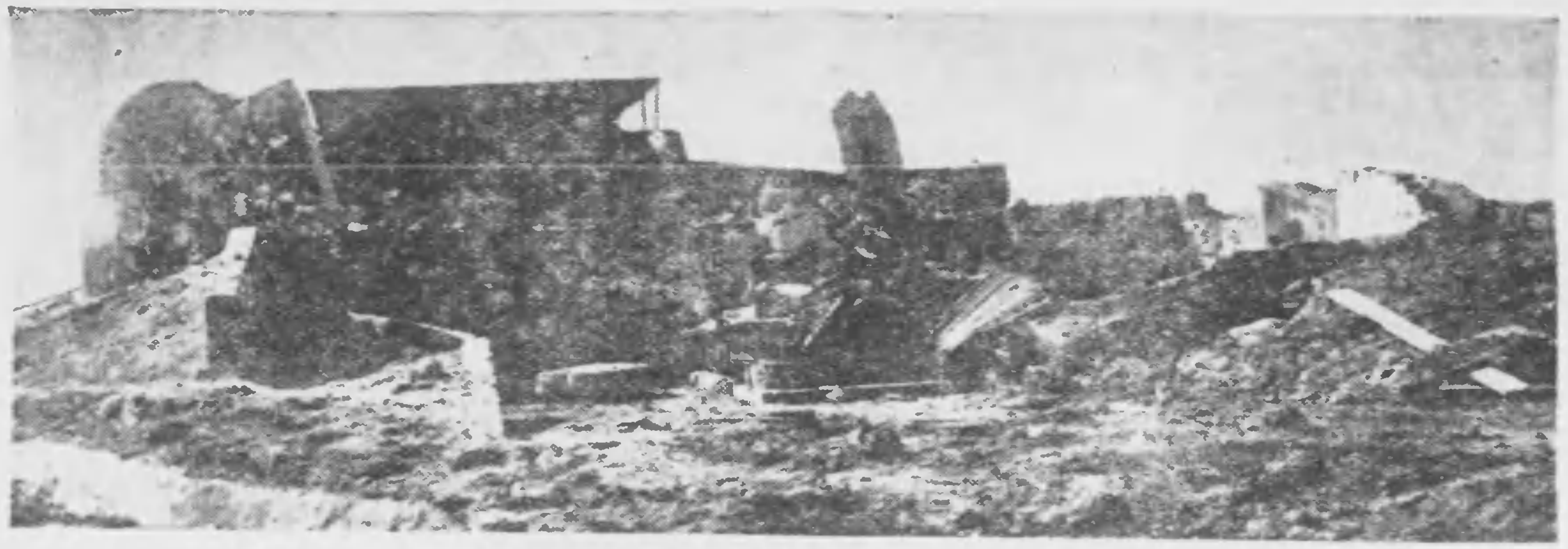
要塞の破壊をやる彈丸は、要塞が最近堅硬な裝甲或ひは堅固なベトンで構築されるに從つて、ますます強大な威力を必要とするやうになつてきた。わが國軍の火藥技術はこれに向つてひたすら研究を續けてきた甲斐あつて、この寫眞で見る通り、實に無慘に彼等の要塞の豪語に似合はず、木ッ葉微塵に跡方もなくやつつけてゐる

すべて射撃といふものは、幅のある地帶を制壓することは容易であるが、たゞ一個の目標——砲臺であるとか、或ひは觀測所であるとか——を破壊するとなると、非常な困難を伴ふのである。射撃技術が如何に優秀であり、如何に火藥がよくても、火砲にはそれぞれ誤差があつて、必ずそこに行くべき照準でありながら、その時の氣溫、氣壓、風等の影響を受けて、命中といふことは、なかなかむづかしい

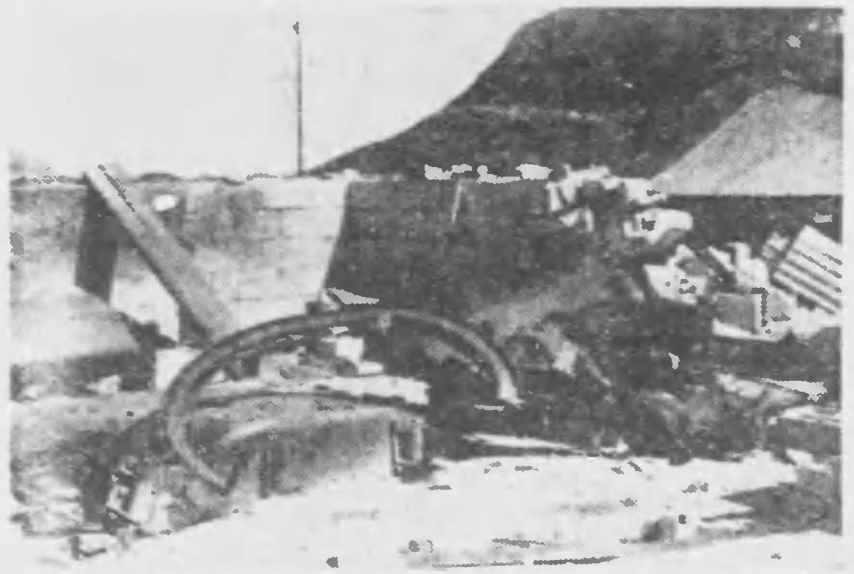
ところが、この寫眞に示すやうに、殆んど各砲臺の火砲を見事にやつつけてゐるのは、一つには所謂火砲の誤差を超越した超人的な皇軍砲兵の平素の訓練が物をいつてゐるのであつて、今まで各地の射撃演習場で假裝の目標を使ひ、血の滲むやうな訓練を行つた成果が、今日初めて立派な實を結んだものであり、また二つには、死物狂ひの敵の砲撃、銃撃をものともせず、敢然一身を皇國のために捧げるわが忠勇無比な將兵の鐵をも岩をも打ち破る攻撃精神がこの輝かしい戰果を克ち獲たのである

今や皇軍はマレー戰線に破竹の活躍を續けてをり、近い將來シンガポールの要塞にぶつかるであらう。このシンガポールは東洋のジブラルタルとして自他ともに許してゐる通りに、要塞の堅固さは香港要塞に勝るとも劣らない程のものである

皇軍の進む所、シンガポールに日章旗の飜へる日も必ず近いことと信ずるが、その陰には香港におけると同じく、またそれ以上に皇軍の非常な努力が拂はれてゐることを思ひみるべきであつて、相共に銃後の務めを勵みながらその日の成果を鶴首して待たうではないか



⇦摩星嶺砲臺の二十四糎加農砲

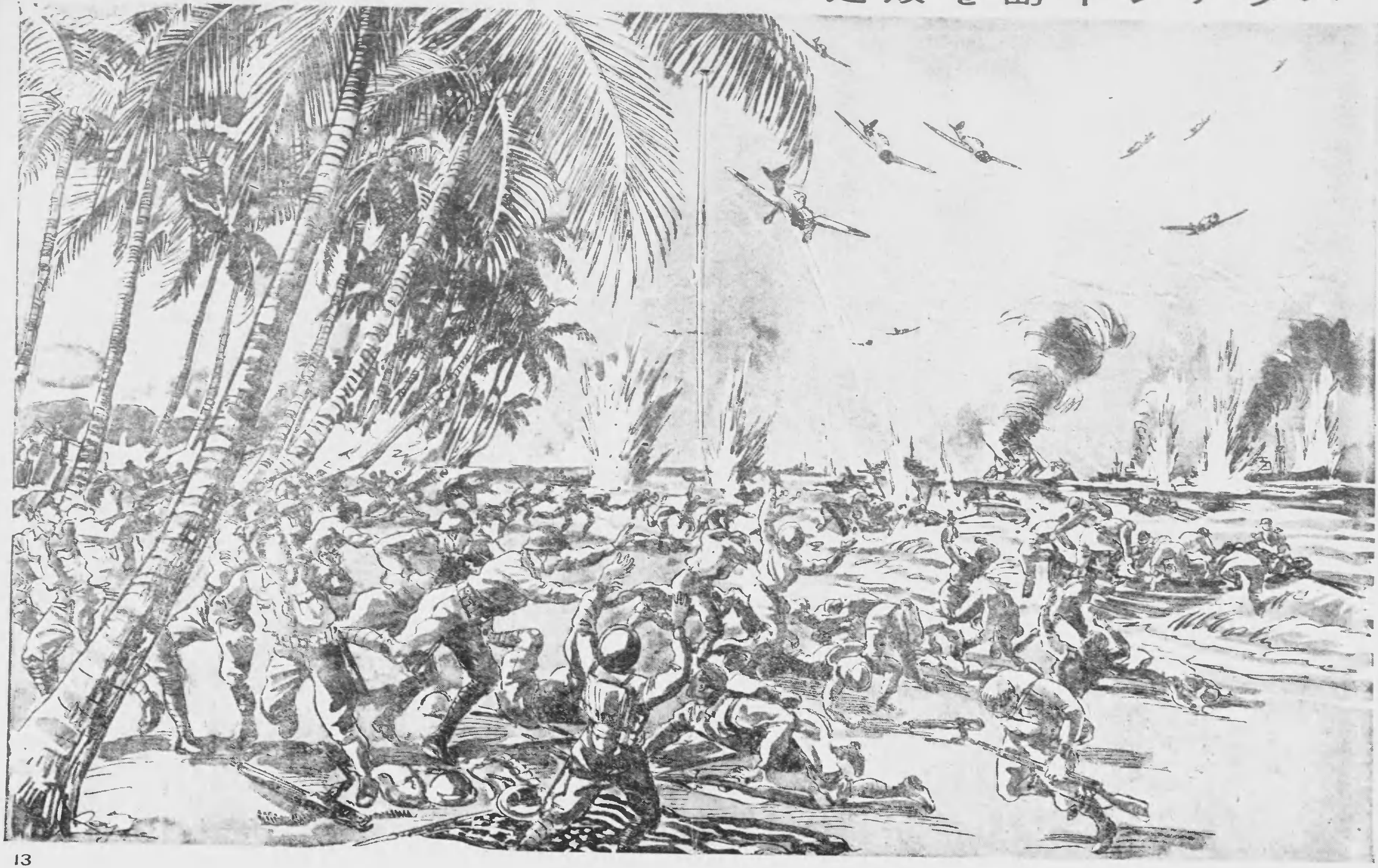


⇦摩星嶺砲臺の高射砲

⇦ブレーマー角の二門砲（八・五糎砲）

バタアン半島を敗走の米比軍

阪巻羚見 畫

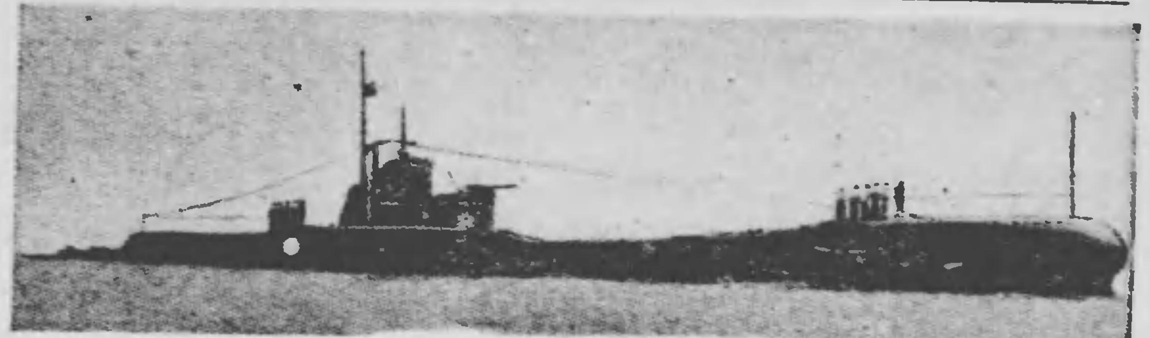


潜水艦戰術と米英の勢力

大本營海軍報道部員　海軍中佐

古橋才次郎

國別	艦名	進水	水上排水量	速力	備砲	發射管
米國	パーチ	一九三六	一、三三〇	二一	三吋砲一門 機砲一門	二一吋六門
	サルゴー	一九三八	一、四五〇	二一	同右	二一吋八門
	カトー	一九四〇	一、五〇〇	二一	三吋砲一門 機砲二門	二一吋十門
英國	ウルスラ	一九三九	五四〇	一三	機砲一門	二一吋六門
	ポルポイス	一九三五	一、五二〇	一五	四吋砲一門 機砲二門	二一吋六門
	トライトン	一九四〇	一、〇九五	一五	同右	二一吋十門


英新設潜水艦トライトン（性能別表）

英新設潜水艦ポルポイス（性能別表）

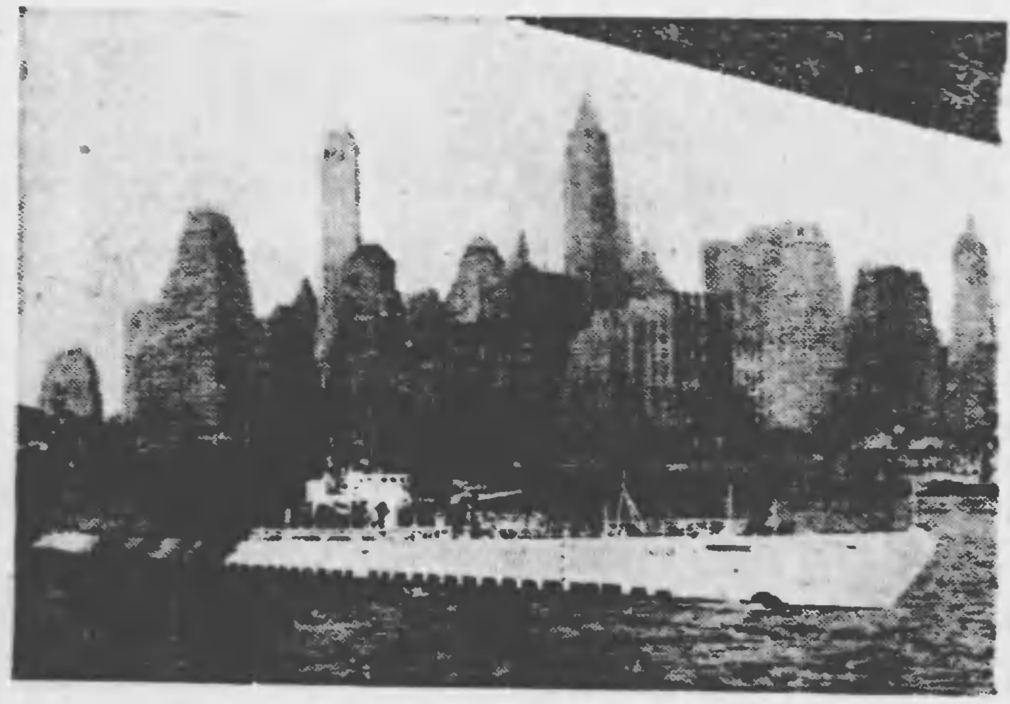
劈頭の一撃克く敵主力を屠り、太平洋の制海權は一先我に歸したわけであるが、近代戰においては、潜水艦の發達に伴ひ、完全なる制海權の把握といふことは、なか〳〵容易なものではない

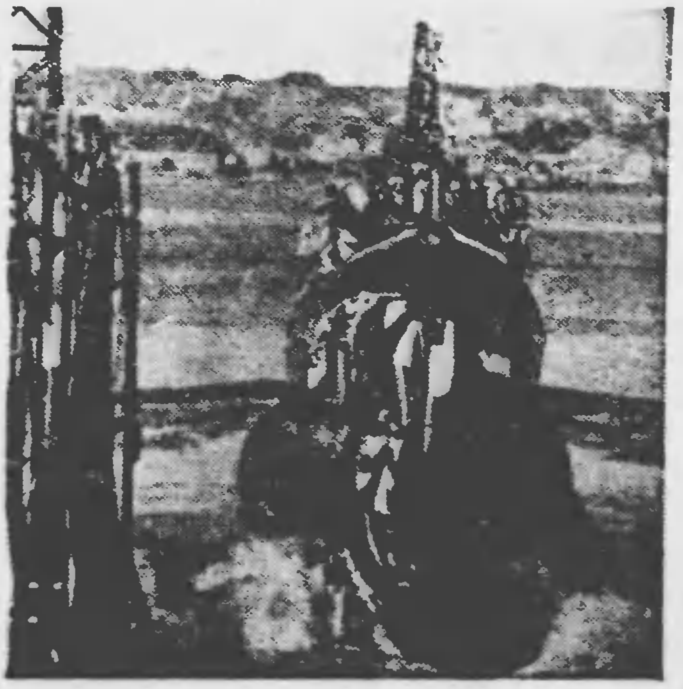
潜水艦は隠密奇襲をその特性とする。從つて敵の潜水艦を一隻殘らず撃滅することの困難さは、先の歐洲大戰においても、また今回の世界大戰においても、各國の常に經驗しつゝあるところである

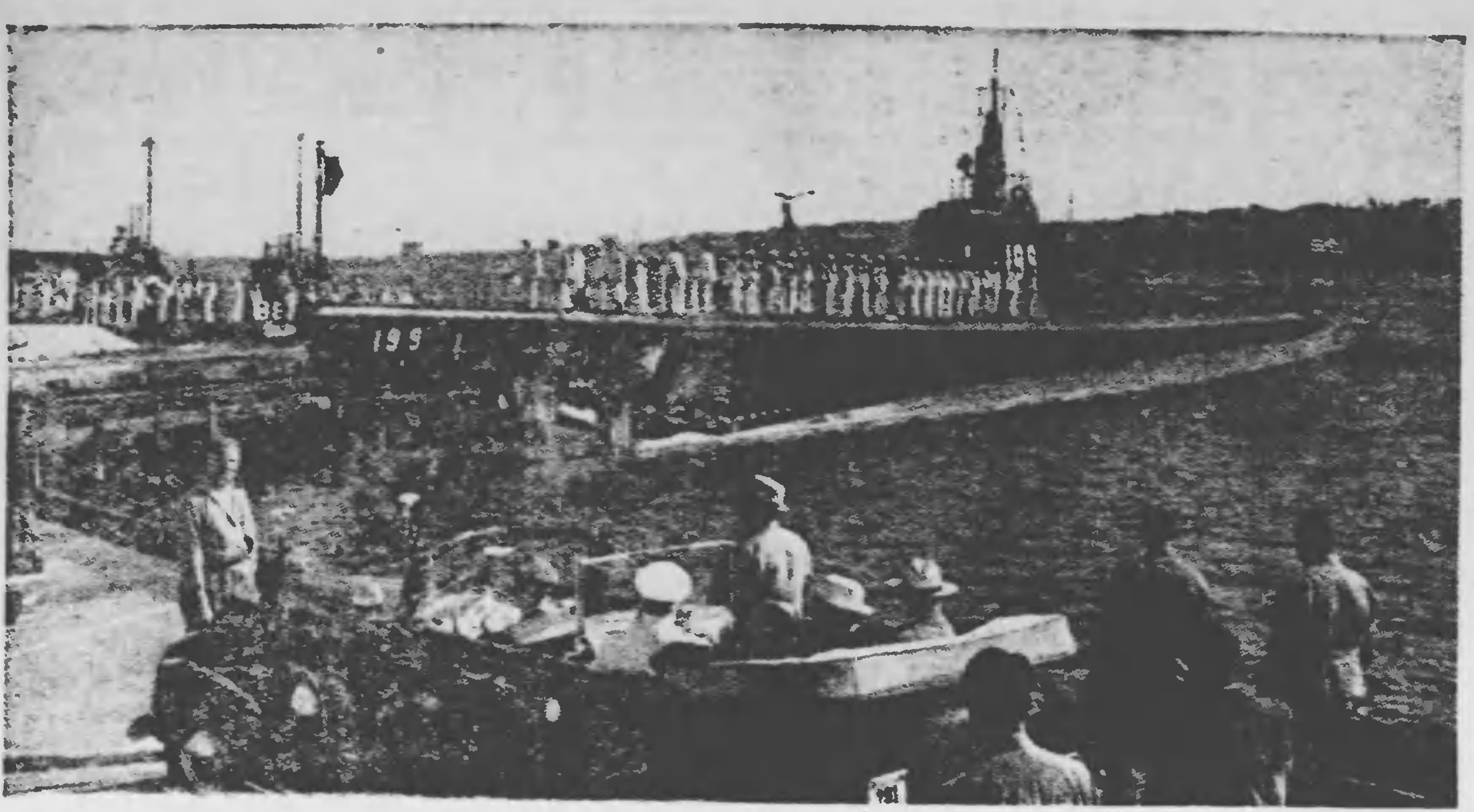
大東亞戰爭は、わが國が潜水艦を交へて實施する初めての戰爭であつて、わが海軍においては、これによる攻撃法並びにこれに對する防禦法において、從來各國が示せる程度のものに非ざることは、こゝに斷言をはゞからないのであるが、前述せる如く潜水艦戰の性質上これを全滅せしむる迄には、相當の時日を要することは認めざるを得ぬと思ふ

これが攻撃的使用法に關しては、奇襲攻撃を主とするも、その性質上、捜索、偵察、觸接などにおける潜水艦の價値も、また輕視し得ないものがある。今次大戰もまだ緒戰にして、わが海軍がこれを如何に使用しつゝあるかといふ點に關しては、まだ開陳すべき時機ではないが、既に發表せられたものをみてもわが潜水艦は米國西海岸に迄も進出して、敵艦の攻撃並びに敵の通商破壞などに從事し、彼が戰前豪語せるわれに對する通商破壞は何等その實効を擧げざる中に、彼自ら我が通商破壞戰のため、逆封鎖の悲鳴を擧ぐるに至つたのである。また、水上機母艦ラングレーは既に撃沈せられ、十二日には彼が世界最大を誇る航空母艦レキシントン型一隻が、我が潜水艦の餌食となつて、わが帝都を空襲せんとする彼の意圖も出鼻を挫かれた感がある

またマレー沖海戰においては、よく航空部隊と協力して敵の所在を探知し、敵艦撃滅に大なる貢獻をなしたことも既に公表せられた通りである。わが潜水艦の活躍に關しては、追ひ〳〵公表せらるゝことと思ふのでこの程度に止め、次ぎに敵潜水艦の狀況について簡述することにする


⇨ 進水する米新設潜水艦ガトー（性能別表）


⇦ 米新設ノーチラス（一九三〇年進水、水上排水量二千七百トン、主砲六吋二門、發射管二十一吋十門）


⇦ 米大西洋岸コネティカット州の重要潜水艦基地ニューロンドンに最新設潜水艦タウトグ（一九四〇年一月進水）乗組員を閲兵するルーズヴェルト

米國の潜水艦は、その總數百十隻といはれてをつたが、その中開戰當時西太平洋水域に活動してをつたものは約三十隻とみられてゐたが、現在までに我が方に撃沈せられたもの約二十隻とみらるゝに至つたので、殘りは十隻以下とみて差支へないであらう。當時ハワイには約二十隻あり、わが攻撃により相當損傷せる見込なるも、その中十數隻は日本近海まで進出し得る能力を持つてゐるものの如くであるが、その他本國の沿岸に在るものは皆舊式であつて、西太平洋に進出し得る能力無きものと推定せられる。戰前西太平洋方面に配備せられてゐたものは皆新式のもののみであつて、その代表的なものは別表の如きものである

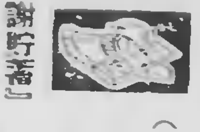
次ぎに英國の潜水艦は、歐洲方面において既に相當の犠牲を見、現在數は四十數隻とみられてゐる。その中開戰當時東洋水域には、一、二隻存在すべしとみられる程度であつたが、その後、彼はマレー沖海戰の敗後と、日本の制海權掌握のため、この種の艦艇を東洋に增派するであらうことは想像に難くないが、各方面の情勢よりして、彼がどの程度東洋にこれを割き得るかは疑問とするところである

米英潜水艦の新型と稱すべきものは別表の如きものがある

⇦ 目指すは何處の海底？ 出動する英潜水艦

二月の常會に

國民擧つて戰爭經濟へ



（一）戰果に應へる『感謝貯蓄』

戰捷の感激と皇軍への感謝の念を、戰時貯蓄に現はしませう。大戰爭が今後何年續き、どのくらゐ澤山の戰費が要つても、全國民がこぞつて立派に戰費を調達してゆくのでなければ最後の勝利は望めません

そこで皆さん、すばらしい大戰果に應へる意味で、一つ新たに『感謝貯蓄』を始めませう。この貯蓄は、長く感謝の意義を傳へる必要がありますから、これまでの貯蓄とは別に始めることはもちろん、特に國債、貯蓄債券または報國債券の購入、定額郵便貯金、据置貯金等の据置的な貯蓄を利用しませう。そしてこの貯蓄には各種の金融機關に依賴して、證券、證書、通帳等に適當な方法で、例へば『記念貼紙』を貼つてもらふとか、『記念スタンプ』を捺すなりして、『感謝貯蓄』であることを明示しませう。これこそ、またとない大切な、しかも意義深い子孫への贈り物となります

（二）みんなで守らう經濟道義

二月一日から二月十日までの間の一週間に『經濟道義昂揚運動』が展開されます

曠漠たる大戰場で、わが將士たちがあらゆる苦勞に耐へて、暴慢の敵撃滅に敢闘してをられるのに、國内では經濟的な不正が今以て跡を絶たないといふのでは、それこそなさけないことです。そこですべて業者も消費者も一丸となつて、買溜、闇取引、抱合せ販賣等の不正や、その他新制法令に觸れるやうな行爲は、この運動週間中に徹底的に絶滅しませう

かうして、全國に明るい經濟生活が展開して行つてこそ、初めて各自に有り餘る物はなくとも、お互ひに勵まし合つて、力強く、長期戰を戰ひ拔いてゆけるのです

常會定例日が一部變更になりました

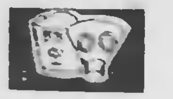
今度大詔奉戴日が設定され、これまでの興亞奉公日がなくなりましたので、二月から以前決定した常會定例日を一部變更することになりました。即ち市町村常會の定例日（毎月二十日から二十五日まで）は今までと變りありませんが、部落常會、町内常會と隣保常會の定例日は次ぎのやうに毎月十日まで延長されました

部落常會、町内常會　市町村常會終了後から毎月十日まで
——これまでは毎月五日まで——

隣保常會　部落常會、町内常會終了後から毎月十日まで
——これまでは毎月五日まで——

つまり大詔奉戴日である毎月八日を中心として、その前後に定例日を設けることができるやうに改められたのです。しかし、常會を巡回指導する必要や地方の特殊事情もありますので、これまでの興亞奉公日と同様に、大詔奉戴日に一齊に常會定例日を統一しようとする趣旨ではありませんから注意を要します

油斷大敵 大空を守らう



開戰以來、皇軍のめざましい大作戰によつて、幸ひ私たちはまだ一回も敵機の空襲を受けることなく、安穩に暮してゐます。しかし、空の守りを片時も忘れてはなりません。敵國は必死となつて機會あらば日本を襲はうと、虎視眈々狙つてゐます

今度全國的に『**防空强化促進運動**』が實施されることになりました。いふまでもなく、もはや防空演習ではありません。いつでも敵機來るなら來て見よとの實戰即應の防空態勢でなければなりません

では『**防空强化促進運動**』によつて何を達成したらよいでせうか

第一に　私どもは十二月八日宣戰の詔書を賜はつた時のあの感激を更に新たにし、必勝の信念で國土防衞の重責を完遂しませう

第二に　全國各地の人は誰も空襲の危險を認識して積極的に防空の强化をはからなければなりませんが、人的にも物的にも限りあることですから、空襲を最も受け易い所から重點的、中心的に防空を完遂しませう

第三に　形式的な防空の進め方を廢し、本當に空襲があつてもビクともしないやう、この期間にこれまでの缺陷を徹底的になくしませう

第四に　警防團や工場商店等の特設防護團、隣保班や學校報國隊を再編成し、整備し、强化しませう

要するに、眞劍に何度でも、しつつこく訓練を繰返しませう

一億で背負へ 譽の家と人

まづ、謹んで『**銃後奉公の誓**』を朗誦しませう。

私たちは緒戰の赫々たる快勝の感激をいつ〳〵までも忘れず、これを日常の生活に生かすとともに、言語に絶する苦難を克服して、お國のために戰つて下さる兵隊さんがたの苦勞を偲びませう。『兵隊さんのお蔭です』、この氣持をいつも胸にして軍人援護を强化徹底しませう

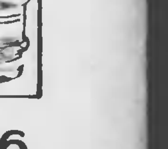
大詔奉戴日の二月八日か、紀元節の二月十一日には、全國各地で市區町村の銃後奉公會が主體となつて戰勝祈願祭が實施されますが、これと呼應して次ぎの事を一層實行するやう努めませう

（イ）　慰問文を送りませう。こんど佛印、フィリピン、マレー、蘭印方面の兵隊さんがたに、書狀とはがきが送れることになりました

（ロ）　戰歿軍人の遺族、出征軍人の家族、傷痍軍人等に對しては、みんなして勤勞作業奉仕や家業の援助をいたしませう

（ハ）　また、これらのほまれの人々に對して隣保相扶の限りない愛情をもつて、できるだけ經濟的、精神的に援けませう

主要都市に食料の配給統制



◇鹽も割當制に

米や砂糖や食料油に次いで食用鹽も一月一日から割當制になりました

一般家庭に對する割當は地域や季節によつて入用が異ひますから通帳による平均割當と、切符による追加割當と二本建の方法が採られました。通帳による割當量は全國一律に毎月一人當二百瓦ときめられてゐます

◇味噌、醬油も近く本式に

味噌、醬油の配給も一月十日から暫定的に米の通帳で實施されました。これは二月一日から本式の切符制によることとなり準備を急いでゐます

味噌、醬油の製造業者、料理屋などの業務用消費者に對しては專賣局でそれぞれの業務團體の割當量をきめ、團體員である業務用消費者に對する割當はその團體できめられます

東京では切符の整備が間に合はぬのでいましばらくの間一月同様米の通帳を使用することになりませう。その配給數量は一律でなく職業によつてきめられることになる模様です

◇鹽干魚の統制

鹽干魚類のなかで差當り、鹽鮭、鱒、燒竹輪、海苔、鯣、昆布、天草、鰮製品、節類、削節の十品目が水産物配給統制規則によつて統制されることになりました。この規則は一月七日に公布施行されましたが、實際に鹽干魚の配給が統制されるのは農林大臣が必要と認めて統制機關を設けた時に初めて統制されることになるわけです

二月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

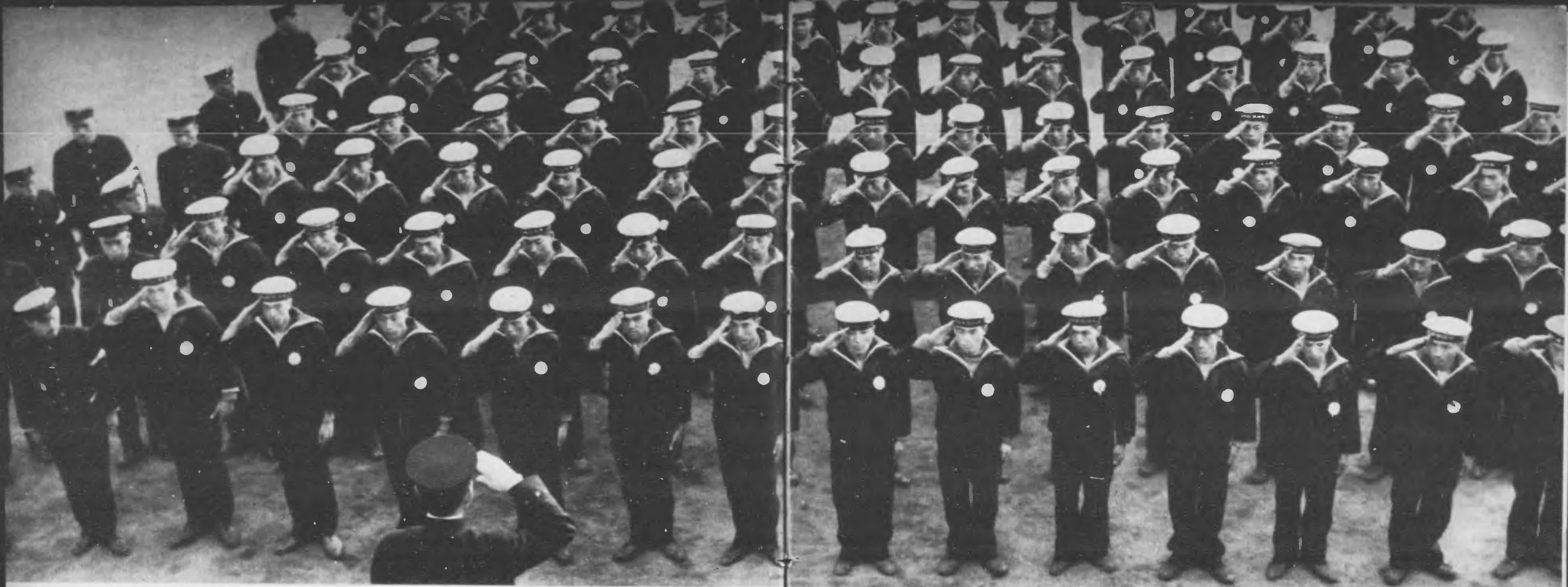
一　日▽衣料綜合切符制實施
六　日▽八日まで明治神宮國民體育大會スキー大會青森縣大鰐で開催
八　日▽大詔奉戴日
十一日▽紀元節
十七日▽祈年祭
廿一日▽三月四日まで大東亞戰爭國債第一回郵便局賣出し
▽三月二十日まで第一回戰時貯蓄債券及び第一回戰時報國債券賣出し
廿五日▽大東亞戰歿靈祭東京日比谷で執行
廿八日▽報國號飛行機（海軍機）命名式東京日比谷で擧行

横須賀鎭守府海軍觀兵式

一月十五日

太平洋大作戰の戰果ますます揚るとき、横須賀鎭守府海軍觀兵式は、一月十五日、平田横鎭長官觀閲の下に横須賀海兵團練兵場において擧行された

この日、工藤少將指揮の海の精鋭六千は、輝く軍艦旗を先頭に歩武堂々の分列式を行ひ、無敵海軍の威容を示して海の强者たちの雄姿を偲ばしめた



祖國を擔つて
今日から海の子

○○海兵團

⇦山田一郎、川上俊之、片野信次郎……第七十六教班―氏名の點呼が終る

氏名點呼を終り、新兵は教班長に引率されて、脱衣場へ ⇩

＜＜＜

今日から帝國海軍の一員た。日本男子の本懐何たる感激であらう

吾等の先輩はハワイ海戰においても、マレー沖海戰においても『敵を倒すまでは死んではならぬ』と潮燒した顔を緊張させて一分間何萬發と降り注ぐ彈幕の中に突入していつた。そして先輩の偉業は燦として世界戰史に輝いてゐる

吾々はこの先輩の偉業を受け繼ぎ猛訓練に勵み、先輩の名を辱しめぬ海兵になることを誓はう

＜＜＜

○○海兵團長の前で新兵の宣誓が行はれる ⇦

⇧ 感激に頰は紅潮し、早くも鍛へた擧手の禮に眼光は炯々と賴母しく、上官を射る

憧れの水兵服を着となして新兵は揭示板の大文字『入團の感激』に讀み入る ⇩

入團の感激
光輝ある歴史と傳統を誇る帝國海軍の一員として入團した吾等
これぞ、日本男子の本懐
何たる感激であらう

銃をハンドルに持ち代へて

徳島の女子バス運轉手

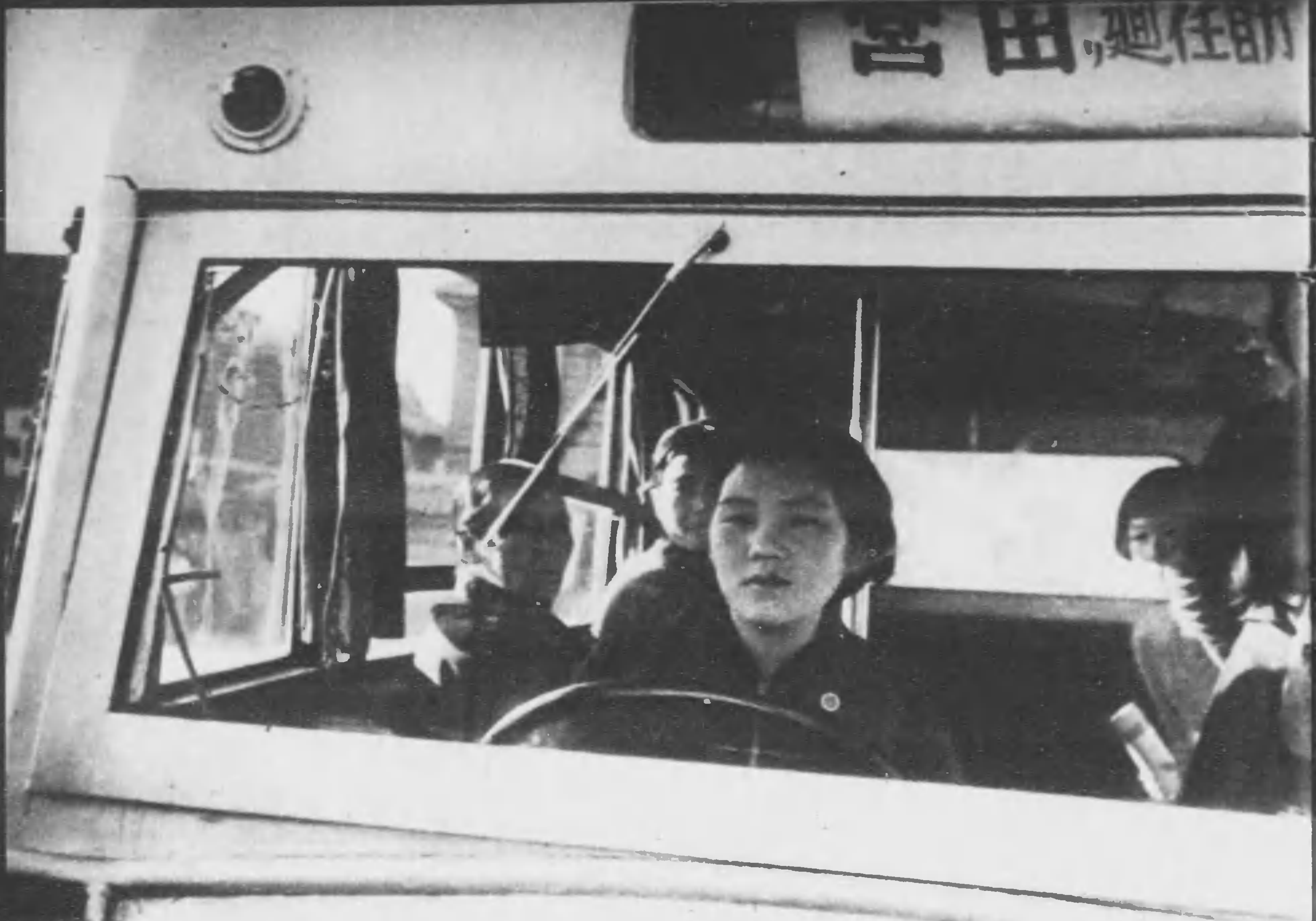
同じ職場の男性がハンドルを銃に持ち代へて大東亞戰爭へ敢然と進軍する。その大和男子が向ふところ陸に海に戰果は赫々として輝く

同じ職場の女性はその男性が殘したハンドルを銃から持ち代へて握り、銃後の運輸戰線をしつかと確保する

これは、徳島市營バス現業員間に釀し出された『吾等の職場は吾等で守る』健氣な姿である

銃をハンドルに持ち代へた一人、濱田市子（二二）さんは客を待つ寸暇に『助任廻り田宮』線の運轉臺で『運轉する氣持』を次のやうに語つてくれた

次々に應召した運轉手を送る感激にも増して、そのために淋しく車庫に殘された主なき車をみるにつけ、また銃後の生產を預る人々の足の不自由がもし、そのためにあつたなら……と考へました途端、幸ひ運轉免許を持つてゐる自分が、車掌から運轉手に代るべきだといふことを決意しハンドルを握りました。男の方たちも大變だらうと勞つてくれます。いまだ一回の事故も起しません

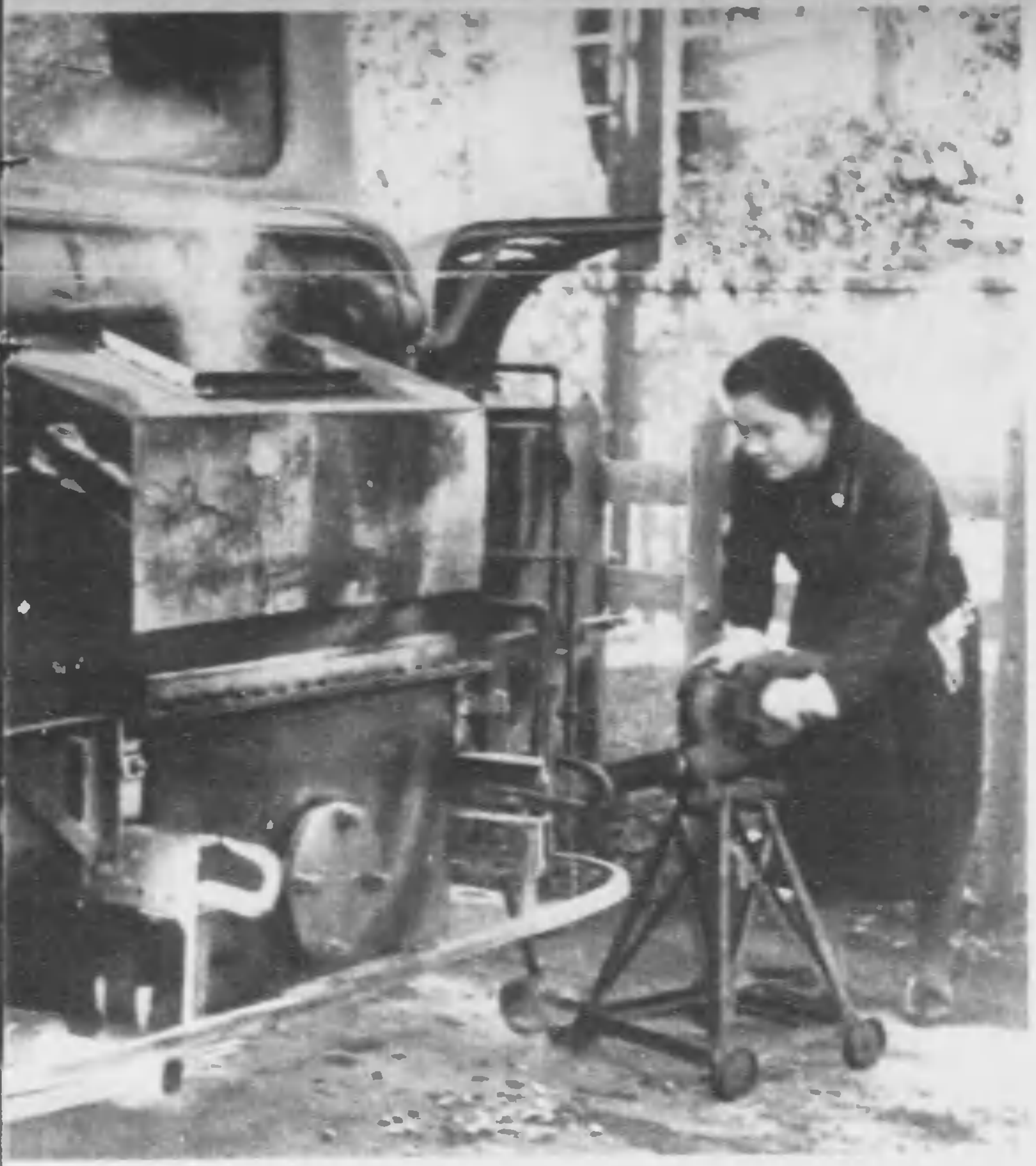


⇧『助任廻り宮田』線の受持ち
ハンドル握れば身も心も引き緊る

⇩お晝の休み時間には二階で同僚が揃つてお裁縫を學ぶ

撮影　吉田榮

午前六時——濱田さんの出勤



⇧車庫ではエンヂンの調整や車の掃除から木炭おこしまで全く一人の手で行ふ

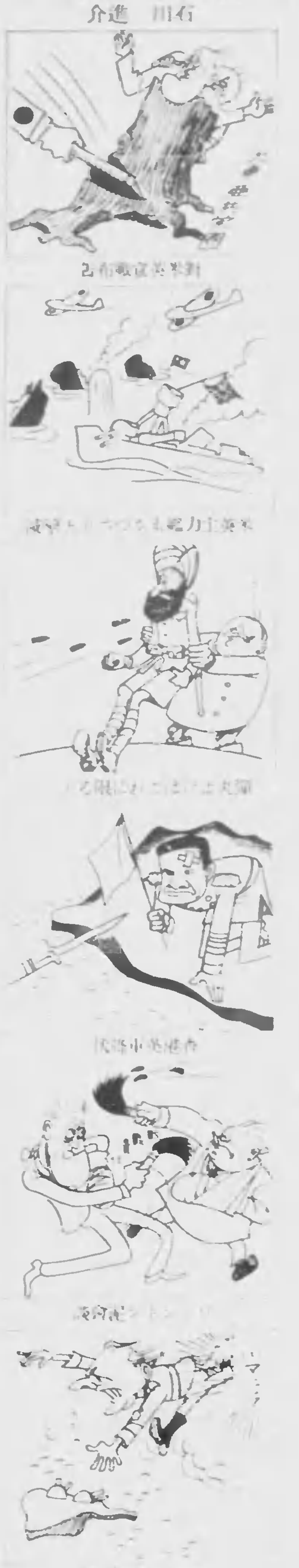
⇩次の出番を持つ現業員の溜——男は將棋に、女は編物に、激務を忘れホット一息の間

⇨いざ出動ですが女は身だしなみが第一——ちよつと鏡でパフをたゝく濱田さんのゆかしさ

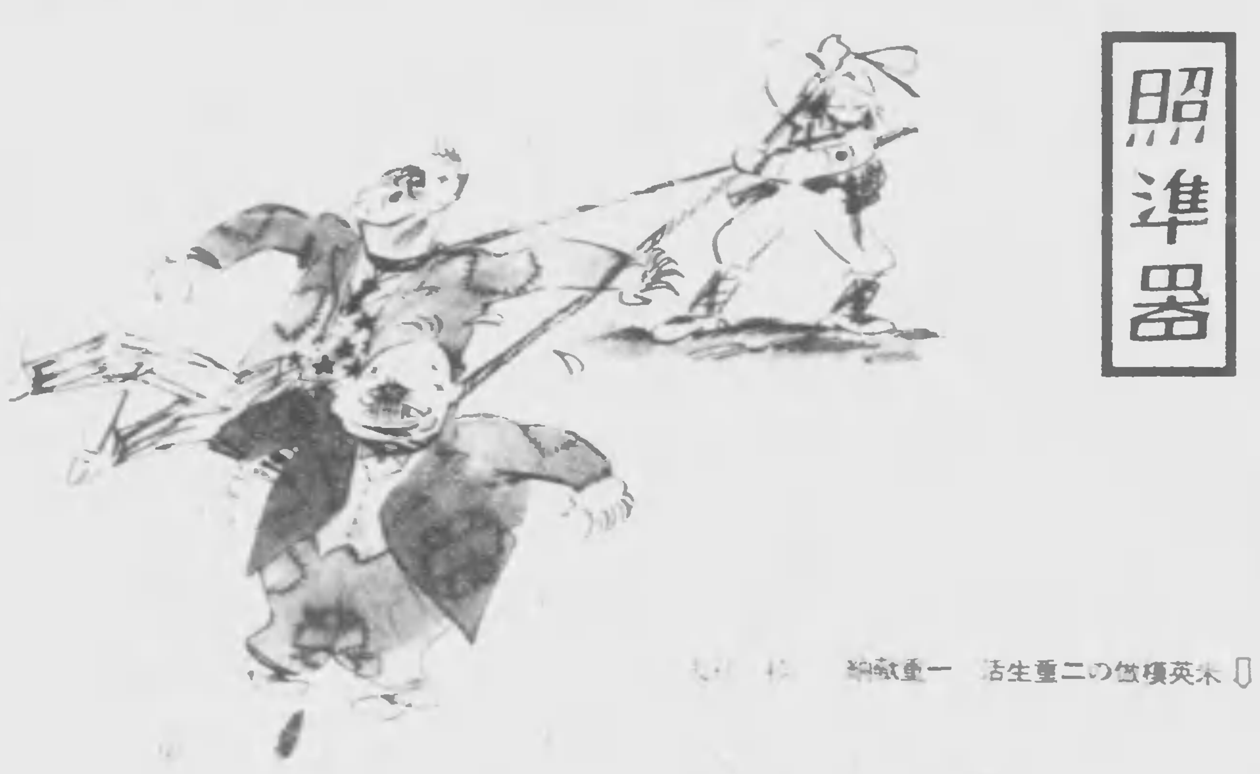
照準器

大東亞戰爭漫畫日誌

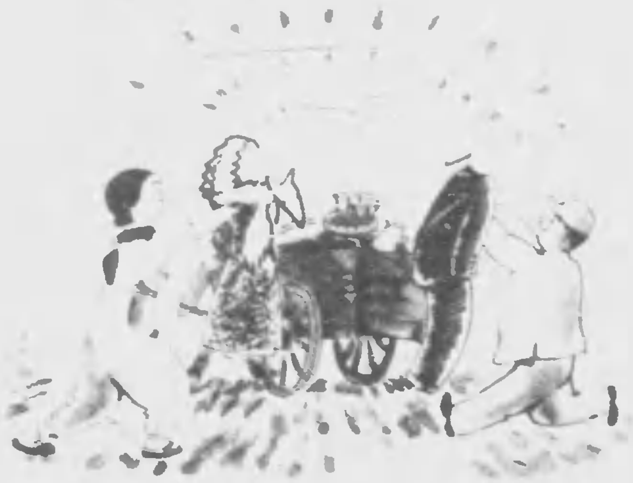
石川進介



對米英宣戰布告
米英主力艦つぎつぎ撃沈
[illegible]
香港英軍降伏
[illegible]
[illegible]

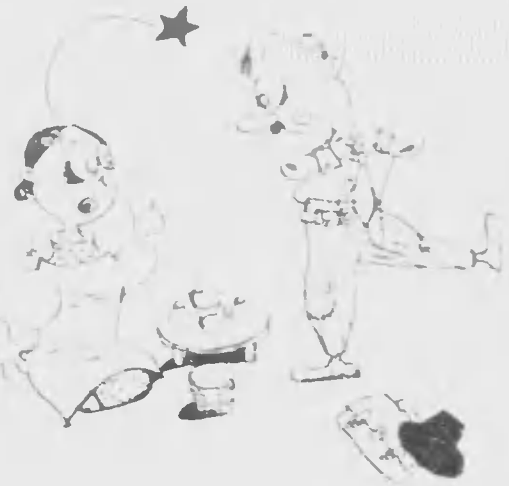


⇧米英積債の二重生活　一重献納　[illegible]



⇧マニラ陥落　[illegible]

[illegible]

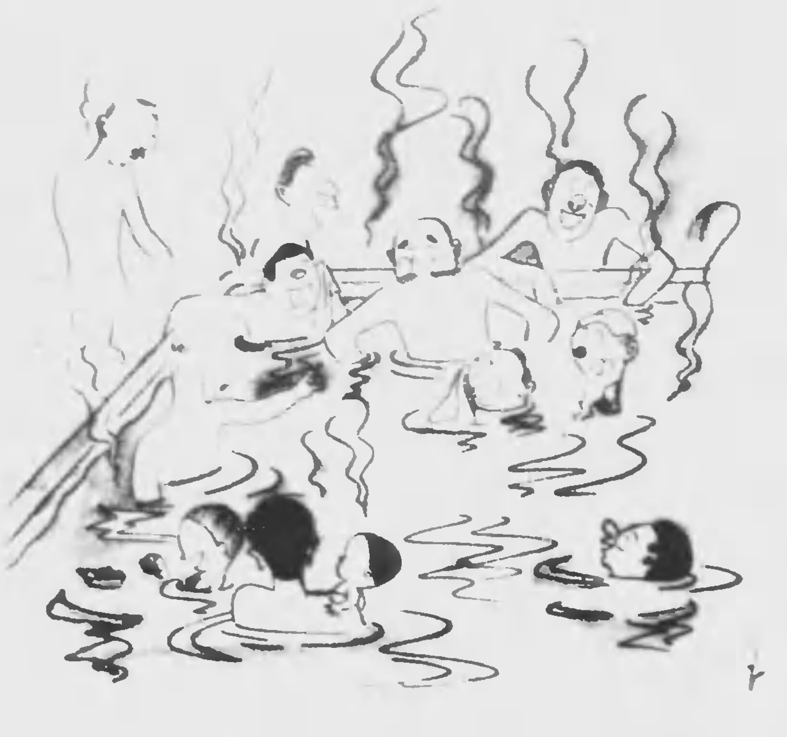


⇨石炭節約　[illegible]

[illegible]

⇧口先千年　中村篤九

[illegible]頑張る[illegible]



本誌を戰地にお送りになる場合には送料は内地と同樣で帶封あるひは開封にして第三種と明記すれば、一部一錢、二部一錢五厘、三部二錢です

寫眞週報（禁轉載）

昭和十七年一月二十八日印刷發行

編輯者　情報局　東京市麹町區丸ノ内三ノ一二

印刷者　發行者　内閣印刷局　東京市麹町區大手町

定價　一部　十錢

▲豫約配達御希望の方は一部十錢（外國郵便に依る場合は十九錢）の割合を前金で添へ御申込みください

▲特大號の場合は其の都度御拂込金より差額を申受けます

取扱所

内閣印刷局發行課

振替東京一〇〇〇〇

全國各地官報販賣所

書店・新聞賣店

新聞販賣店

寫眞材料店

★表紙

これは、わが砲兵部隊によつて陥落された香港要塞北角の十[illegible]加農砲である。[illegible]に見事にやられてゐる。皇軍砲兵部隊の射撃術は世界に冠絶するものだとはよくいはれることであるが、その物凄い威力がはつきりと示されたものではないか。

撮影　陸軍省

戰費調達に夜間挺身隊

浦和市　金子正雄

⇧埼玉縣浦和郵便局員は戰争が長期なら戰費調達の貯蓄増加も長期で行かう、と提燈片手に揃ひの制服に身を固め赤い自轉車の挺身隊を組織して簡易保險や郵便年金の夜間勸誘をするといふ體當りの戰法で活躍を始めました

あの感激を増産に

栃木縣　鹿沼高等女學校

戰争完遂への總進軍が起された大詔奉戴日の一月八日、栃木縣鹿沼高等女學校の生徒たちはこれまで勞力不足のため荒蕪地となつてゐた近隣二町歩に餘る山野を引受け、あの日の感激を増産に、開墾の第一歩を踏み出しました⇩

⇧**マニラ陥落を豐太閤に奉告**

大阪市　中藤敦

マニラ陥落して皇威南海を壓するとき、三百五十年前すでに早くもマニラに降服を勸告した豐太閤の雄圖がそぞろ偲ばれる大阪の地に、一月九日、軍官民主催によつて豐太閤奉告祭が行はれ、大東亞戰争完遂を誓つて市民の意氣を昂揚した――中之島豐國神社へ入る行進　上左

⇧**新戰場に近く揚る勝鬨**

臺北市　影山鶴雄

マニラ陥落の戰鼓が高らかに鳴りひゞくとき、新戰場に海峡一つを距てた臺灣臺北市では、東亞の天地に覇業の一端成る喜びを爆發させて一月五日祝賀の旗行進を行ひ、市内は日の丸一色に埋めつくされた

復習室

本號からあなたは何を學んだでせうか？

1 帝國潜水艦が華々しい活躍を始めたのは……日清戰役？　日露戰役？　前歐洲大戰？　大東亞戰争？……（14頁）

2 要塞の攻撃は普通の野戰のやうに迅速に片が付かないものとされてゐますがその理由の一つはなんでせう？……（11頁）

3 マラッカと申しますと――ウエーキ島で捕虜になつたアメリカの海軍士官の名？　わが軍に攻略されたマレー半島西岸の要衝？　アメリカの新らしい流行語？（日本には敵はんといふ意）……（9頁）

4 潜水艦の特性は……捜索？　觸接？　偵察？　隠密奇襲？……（14頁）

5 二月八日は何の日ですか？……（17頁）

6 食用鹽の一人毎月の割當量は……五十瓦？　百瓦？　二百瓦？　三百瓦？……（16頁）

7 要塞攻撃の中心力といふべき攻城砲と一般の野戰砲とはどんな點で異ひますか？……（11頁）

8 こんど鹽干魚類の配給が統制されることになりましたがその品目は？……（16頁）

9 米航空母艦レキシントン型一隻を屠つた殊勲の艦艇は……水雷艇？　戰闘艦？　巡洋艦？　潜水艦？　驅逐艦？　特殊潜航艇？……（14頁）

10 佛印、フィリピン、マレー、蘭印方面の兵隊さんに郷土便りを出したいと思ひますが送れるでせうか？……（16頁）

一問十點としてあなたは何點でしたか？

寫眞週報　昭和十三年二月十六日　第三種郵便物認可　昭和十七年一月廿八日發行（毎週一回水曜日發行）　第二百五號

一億一心
感謝の貯蓄
東海銀行
本店・名古屋

内閣印刷局印刷發行

（本書の大きさは國定規格A4・［週報附判］）